

HARADA
WataruMORIYA
Kentaro攻守両面で
攻撃的なサガン鳥栖スタイルを
貫いて
勝利へと

突き進む!

DF 42 Wataru HARADA
原田 亘MF 19 Kentaro MORIYA
森谷 賢太郎

アウェイ3連戦を1勝1分1敗と五分の成績で乗り切ったサガン鳥栖。その間、ACLチャンピオンの浦和を撃破し、続く福岡との九州ダービーでは数的バイハンドでも攻撃的なスタイルを崩さず貴重な勝点1を手にした。川井健太監督はこの間に1失点しかしていないことを評価し、次の作業として「攻撃にもっとフォーカスしたい」と話した。

こうして迎えるのが今節・新潟戦。新潟は松橋力蔵監督の下、J2から築き上げてきたパスワークで主導権を握るサッカーを6シーズンぶりとなるJ1の舞台でも遺憾無く発揮し、鳥栖の1つ上の12位につけている。

その中、輝いているのが、4-2-3-1の布陣でトップ下に入るMF伊藤涼太郎だ。これまでに得点ランキング2位タイの7ゴールを挙げている。これは新潟の総得点15点のほぼ半分だ。こうした点を踏まえ、今節のポイントには主導権争いになる。

第8節・柏戦以降、浦和戦を除いてスタメン出場を続けているMF森谷賢太郎は「相手への対処も大事ですけど、それ以上に僕たちがボールを持てばそれも起きることではないので、どれだけボールを持てるかにフォーカスしていきたい」と話した。彼の言うようにボールポゼッションすれば、相手に主導権を握られることはない。それに加え森谷は「守備でも主導権は握れる。今の守備のやり方ならそれができると、積極的

なプレスで守備時でも主導権を握るつもりだ。右サイドバックとして守備だけでなく、攻撃での存在感も示しはじめたDF原田亘は「新潟は鳥栖と似たようなサッカーをしていると思うので、切り替えの場面や球際の強度で上回らないと受け身になってしまうと思います。攻撃もそうですけど、今高めている守備の部分で相手を無失点に抑えることで勝利が見えてくると思う」と話した。

厳しい日程のアウェイ3連戦を経て、鳥栖の選手たちは遅くも成長した。この新潟戦からルヴァンカップを含めたホーム3連戦がスタートする。ここから上位進出を図るためにも、チームを信じて共に戦い、勝点3をつかもう!



チケットの
購入はコチラ

NEXT HOME GAME

VS ジュビロ磐田

2023 Jリーグ YBCルヴァンカップ
グループステージ第5節
@駅前不動産スタジアム

5.24 [水] 19:00 KICK OFF



© 2015 JUBILO

NEXT AWAY GAME

VS 横浜FC

2023 明治ア田生命 J1リーグ 第16節
@ニッパツ三ツ沢球技場

6.3 [土] 18:30 KICK OFF



© 1999 YOKOHAMA FULLE SPORTS CLUB